



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東
コード番号 3674 URL <https://aucfan.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 武永 修一
問合せ先責任者（役職名） 執行役員 経営管理部長（氏名） 杉山 真二郎（TEL）03-6809-0951
半期報告書提出予定日 2025年5月15日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（当社ホームページに動画掲載）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年9月期中間期	2,412	△1.9	95	△58.0	122	△47.9	50	△68.4
2024年9月期中間期	2,457	△7.8	226	2.3	234	3.4	160	484.6

（注）包括利益 2025年9月期中間期 △38百万円（－％） 2024年9月期中間期 66百万円（4.6％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	4.91	—
2024年9月期中間期	15.58	—

（注）2024年9月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、2025年9月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年9月期中間期	7,474	4,445	59.5
2024年9月期	7,692	4,408	57.3

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 4,445百万円 2024年9月期 4,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00			
2025年9月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	6,000	24.0	375	5.2	360	1.8	190	1.4	18.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2024年11月14日付の会社法第370条及び当社定款に基づく取締役会決議に代わる書面決議に基づき、自己株式の取得を行っております。また、2024年12月24日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については当該影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期中間期	10,813,700株	2024年9月期	10,813,700株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	291,990株	2024年9月期	491,990株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年9月期中間期	10,366,659株	2024年9月期中間期	10,321,710株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）
決算補足説明資料は、第2四半期（中間期）決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

近年における国内のBtoB卸売市場は300兆円規模と推定(※1)されており、非常に大きな市場にも関わらずEC化率は未だ37.5%(EDI(※2)による取引を含む)と、オンライン化されていないBtoB市場は約200兆円あると考えられます。また、海外市場に目を向けると、BtoB卸売市場規模は数千兆円以上と想定されます。

オークファングループはこの課題に真正面から向き合い解決すべく、コーポレートアイデンティティを「RE-INFRA COMPANY」と定義し、社会の様々な「RE」を統合した唯一無二の流通インフラを構築し、流通市場のDX化に取り組んでおります。

当社グループは、当社グループの各サービスを利用していただくSmallB(個人事業主)・副業・インフルエンサーのお客様をAppreciator(アプリシエイター)と定義しております。Appreciateは「真価を認める、感謝する、面白く味わう、価値が上がる、買う」などの意味を持ちます。当社が定義するAppreciatorとは「真価を見出し、価値に感謝できる人」と考えており、Appreciatorの皆様が活躍できる社会の実現を目指し事業を推進しております。

具体的には、創業来培った700億件を超える売買データとAI技術により商品の時価を可視化、価格と販路を最適化するソリューション事業、Appreciator(SmallB(個人事業主)・副業・インフルエンサー)を中心とした小売・流通業向けに流通を支援するプラットフォーム事業、投資事業及び新規事業に取り組むインキュベーション事業を展開しております。

2022年9月期からは、中長期的な事業拡大を見据え、海外BtoB卸売市場への展開が不可欠であると認識し、中国海南省に連結子会社「傲可凡(海南)网络科技有限公司」を設立しました。この子会社を通じて、人口14億人以上の中国バイヤーをはじめ、世界各国への流通インフラ構築に向けた海外向けサービス展開に着手しています。今期も前期に引き続き、成長戦略を海外市場にシフトさせ、既存の国内事業での継続的成長を目指すとともに、海外向けサービスのシステム開発などに積極的に投資しています。

※1 経済産業省2024年9月25日発表 電子商取引に関する市場調査、BtoB-EC市場規模の業種別内訳より推察

※2 電子的データ交換(Electronic Data Interchange)の略称。受注や発注、出荷や納品などの流通に関わる一連の取引を電子データでやりとりする仕組み

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は2,412,048千円(前中間連結会計期間比1.9%減)、営業利益は95,179千円(前中間連結会計期間比58.0%減)、経常利益は122,290千円(前中間連結会計期間比47.9%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は50,868千円(前中間連結会計期間比68.4%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(ソリューション事業)

当セグメントは、データを基にAI技術を活用し在庫の価値を可視化することにより、企業が保有する在庫価値の可視化・最適化等を推進するソリューションを提供しております。主なサービスとしては当社が保有する流通相場データを活用した『aucfan.com(オークファンドットコム)』となり、主たる収益源は有料課金収入及びネット広告収入となります。その他、EC事業者向けマーケティング支援サービス『aucfan marketing(オークファンマーケティング)』、ネットショップ一元管理サービス『タテンボガイド』の提供、専門知識がなくても直感的に操作できるRPAツール『オークファンロボ』、副業・複業として物販ビジネスを行なう事業主を対象とするスクール形式の副業支援サービス『good sellers(グッドセラーズ)』、Amazonセラー専用アプリ『Amacode(アマコード)』等を提供しています。

当中間連結会計期間においては、aucfan.com(オークファンドットコム)で2024年7月に実施した会員機能強化に伴う価格改定により、課金売上が好調に推移しました。また、aucfan marketing(オークファンマーケティング)においても広告運用サービス売上が好調に推移しました。なお、Amacode(アマコード)については収益性の改善が見込めない状況が続いたことから、事業の効率化及び収益構造の健全化を目的に、当該サービスを第三者へ譲渡し、2025年2月をもって事業から撤退いたしました。

これらの結果、売上高1,430,912千円(前中間連結会計期間比13.0%増)、営業利益335,945千円(前中間連結会計期間比33.8%増)となりました。

(プラットフォーム事業)

当セグメントは、企業の在庫・滞留商品等の流通を支援しており、オンライン及びオフラインにて複数のマーケットプレイスを運営しております。主なサービスとしては、BtoB卸モール『NETSEA(ネッシー)』、滞留在庫・返品・型落ち品などの流動化支援を行う『NETSEAオークション(旧 ReValueBtoBモール)』、オフラインの展示・商談会事業『OSR(オーエスアール)展示商談会』等がございます。主たる収益源は、NETSEAでは流通手数料収入及び有料課金収入、NETSEAオークションでは商品販売収入、OSRでは決済手数料収入及び出店料となります。

NETSEAでは2024年9月期に実施した流通手数料の見直しの影響で売上高が増加しました。一方、NETSEAオークションでは大手サプライヤーの返品商品の取り扱いが減少し、売上高が減少しました。なお、NETSEAオークションについては、収益性及び市場環境を総合的に勘案した結果、今後の成長が見込めないと判断し、成長戦略領域への事業資源集中を目的として、2025年3月をもってサービスを終了いたしました。

これらの結果、売上高813,965千円(前中間連結会計期間比4.2%減)、営業利益13,792千円(前中間連結会計期間比73.7%減)となりました。

(インキュベーション事業)

当セグメントは、事業投資及び投資先企業の支援を通じて、当社が中長期にわたり競合優位性を構築・維持していくための知見とネットワークを得ることを目的とした事業セグメントであります。主たる収益源は、営業投資有価証券の売却益・配当収益、投資先企業へのコンサルティング収益となります。なお、当セグメントでは将来成長の基盤となる海外事業等の新規事業開発等も実施しております。

当中間連結会計期間においては、営業投資有価証券の売却収入等がありましたが、前年同期水準の収益額には至りませんでした。

これらの結果、売上高252,226千円(前中間連結会計期間比34.7%減)、営業損失62,715千円(前中間連結会計期間は125,188千円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、7,474,348千円(前連結会計年度末は7,692,978千円)となりました。

流動資産は、6,523,280千円(前連結会計年度末は6,805,834千円)となりました。主な変動要因といたしましては、商品が36,198千円増加したものの、営業投資有価証券が131,171千円減少、現金及び預金が102,125千円減少、売掛金が82,448千円減少した結果であります。

固定資産は、951,067千円(前連結会計年度末は887,144千円)となりました。主な変動要因といたしましては、ソフトウェアが45,339千円減少したものの、その他(投資その他の資産)が76,985千円増加、ソフトウェア仮勘定が39,128千円増加した結果であります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、3,028,572千円(前連結会計年度末は3,284,732千円)となりました。

流動負債は、2,927,735千円(前連結会計年度末は3,181,146千円)となりました。主な変動要因といたしましては、買掛金が65,427千円増加したものの、短期借入金が160,000千円減少、未払法人税等が61,046千円減少、1年内返済予定の長期借入金が50,018千円減少した結果であります。

固定負債は、100,836千円(前連結会計年度末は103,585千円)となりました。主な変動要因といたしましては、繰延税金負債が11,517千円増加したものの、長期借入金が16,662千円減少した結果であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、4,445,775千円(前連結会計年度末は4,408,246千円)となりました。主な変動要因といたしましては、その他有価証券評価差額金が86,269千円減少、資本剰余金が79,238千円減少したものの、自己株式が155,185千円減少、利益剰余金が50,868千円増加した結果であります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より102,125千円減少し、4,395,553千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前中間純利益108,081千円、減価償却費126,711千円、売上債権の減少額82,448千円、仕入債務の増加額61,825千円などにより資金が増加した一方で、法人税等の支払額86,928千円、棚卸資産の増加額40,885千円などにより資金が減少したため、営業活動の結果獲得した資金は249,973千円(前中間連結会計期間は414,626千円の獲得)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

無形固定資産の取得による支出113,297千円などにより資金が減少したため、投資活動の結果使用した資金は115,523千円(前中間連結会計期間は92,588千円の使用)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入れによる収入480,000千円により資金が増加した一方で、短期借入金の返済による支出640,000千円、長期借入金の返済による支出66,680千円、自己株式の取得による支出34,756千円などにより資金が減少したため、財務活動の結果使用した資金は259,721千円(前中間連結会計期間は389,628千円の獲得)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の連結業績予想については、2024年11月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において、入手可能な事実情報、及び現時点で判明している当社業績への直接的影響に基づき作成しております。今後の状況や市場環境の変化によって当社業績への影響の範囲が大きく変動した場合等、その時点での合理的な算出により業績予想に変更が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,497,678	4,395,553
売掛金	476,148	393,699
営業投資有価証券	1,092,382	961,210
商品	15,942	52,141
仕掛品	—	4,774
貯蔵品	2,414	2,664
未収入金	574,129	597,047
その他	219,597	187,401
貸倒引当金	△72,460	△71,211
流動資産合計	6,805,834	6,523,280
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	70,310	66,250
工具、器具及び備品(純額)	36,501	40,325
その他(純額)	2,033	1,755
有形固定資産合計	108,845	108,331
無形固定資産		
のれん	4,972	2,983
ソフトウェア	418,820	373,481
ソフトウェア仮勘定	11,020	50,149
その他	1,195	1,061
無形固定資産合計	436,009	427,676
投資その他の資産		
長期貸付金	4,152	—
繰延税金資産	146,752	146,489
破産更生債権等	298,303	298,303
長期未収入金	312,147	294,346
その他	191,384	268,370
貸倒引当金	△610,450	△592,450
投資その他の資産合計	342,288	415,058
固定資産合計	887,144	951,067
資産合計	7,692,978	7,474,348

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,550	116,978
短期借入金	1,500,000	1,340,000
1年内返済予定の長期借入金	96,674	46,656
未払法人税等	99,807	38,761
未払金	1,199,190	1,232,369
契約負債	99,491	68,911
賞与引当金	3,600	3,400
株主優待引当金	18,000	—
その他	112,832	80,658
流動負債合計	3,181,146	2,927,735
固定負債		
長期借入金	61,122	44,460
繰延税金負債	—	11,517
その他	42,463	44,859
固定負債合計	103,585	100,836
負債合計	3,284,732	3,028,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	973,683	973,683
資本剰余金	919,089	839,851
利益剰余金	2,569,041	2,619,910
自己株式	△340,055	△184,870
株主資本合計	4,121,759	4,248,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	286,574	200,304
為替換算調整勘定	△87	△3,103
その他の包括利益累計額合計	286,486	197,200
純資産合計	4,408,246	4,445,775
負債純資産合計	7,692,978	7,474,348

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	2,457,622	2,412,048
売上原価	1,070,920	1,198,619
売上総利益	1,386,702	1,213,429
販売費及び一般管理費	1,160,086	1,118,249
営業利益	226,616	95,179
営業外収益		
受取利息	211	2,091
為替差益	3,248	26,832
受取手数料	438	—
貸倒引当金戻入額	4,685	—
営業債務消滅益	—	6,156
その他	3,956	2,214
営業外収益合計	12,541	37,294
営業外費用		
支払利息	3,193	6,841
控除対象外消費税等	—	268
その他	1,262	3,072
営業外費用合計	4,455	10,183
経常利益	234,702	122,290
特別利益		
新株予約権戻入益	2,894	—
受取保険金	10,000	—
その他	—	0
特別利益合計	12,894	0
特別損失		
固定資産除却損	230	—
事業撤退損	—	14,208
特別損失合計	230	14,208
税金等調整前中間純利益	247,366	108,081
法人税、住民税及び事業税	54,125	29,906
法人税等調整額	53,362	27,306
法人税等合計	107,487	57,213
中間純利益	139,878	50,868
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	160,776	50,868
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△20,897	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72,395	△86,269
為替換算調整勘定	△633	△3,016
その他の包括利益合計	△73,028	△89,285
中間包括利益	66,849	△38,417
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	87,747	△38,417
非支配株主に係る中間包括利益	△20,897	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	247,366	108,081
減価償却費	114,281	126,711
のれん償却額	1,989	1,989
株式報酬費用	—	5,430
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,014	△19,248
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△18,000
受取利息及び受取配当金	△211	△2,091
支払利息	3,193	6,841
受取保険金	△10,000	—
固定資産除却損	230	—
事業撤退損	—	14,208
売上債権の増減額(△は増加)	38,196	82,448
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△140,700	29,375
棚卸資産の増減額(△は増加)	20,785	△40,885
長期未収入金の増減額(△は増加)	15,000	17,800
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,575	61,825
未払金の増減額(△は減少)	△78,307	29,820
その他	73,575	△54,262
小計	270,809	350,045
利息及び配当金の受取額	191	1,930
利息の支払額	△3,419	△6,695
事業撤退損の支払額	—	△8,378
保険金の受取額	60,000	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	87,045	△86,928
営業活動によるキャッシュ・フロー	414,626	249,973
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	4,982	4,152
有形固定資産の取得による支出	△4,956	△9,178
無形固定資産の取得による支出	△89,868	△113,297
差入保証金の差入による支出	△4,096	—
預り保証金の受入による収入	4,950	5,650
預り保証金の返還による支出	△3,600	△2,850
その他	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,588	△115,523
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,133,000	480,000
短期借入金の返済による支出	△693,000	△640,000
長期借入金の返済による支出	△49,998	△66,680
リース債務の返済による支出	△373	△388
自己株式の取得による支出	—	△34,756
非支配株主からの払込みによる収入	—	2,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	389,628	△259,721
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,847	23,145
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	713,513	△102,125
現金及び現金同等物の期首残高	3,280,940	4,497,678
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,994,453	4,395,553

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年11月14日付の会社法第370条及び当社定款に基づく取締役会決議に代わる書面決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。この取得により当中間連結会計期間において自己株式が34,756千円増加いたしました。

また、2024年12月24日付の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式300,000株の処分を行いました。この処分により当中間連結会計期間において資本剰余金が81,342千円減少し、自己株式が189,942千円減少いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間末における資本剰余金は839,851千円、自己株式は184,870千円となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	ソリュー ション	プラッ ト フォー ム	インキュ ベー ション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,241,337	830,130	386,155	2,457,622	—	2,457,622
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,340	19,848	—	45,189	△45,189	—
計	1,266,677	849,978	386,155	2,502,812	△45,189	2,457,622
セグメント利益	251,085	52,416	125,188	428,690	△202,074	226,616

(注) 1. セグメント利益の調整額△202,074千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない
全社費用が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、従来「在庫価値ソリューション」としていた報告セグメントの名称を「ソリューション」、「商品流通プラットフォーム」としていた報告セグメントの名称を「プラットフォーム」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	ソリュー ション	プラッ ト フォー ム	インキュ ベー ション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,377,049	798,346	236,652	2,412,048	—	2,412,048
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,863	15,619	15,574	85,056	△85,056	—
計	1,430,912	813,965	252,226	2,497,104	△85,056	2,412,048
セグメント利益又は損失(△)	335,945	13,792	△62,715	287,022	△191,842	95,179

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△191,842千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに
配分していない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。